

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 宮内 龍雄

副会長 島田 洋二郎

幹事 佐藤 直子

会計 金子 芳則

2015～2016年度 RIテーマ

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015～2016 RI会長 K. R. ラビンドラン

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2880号 (2015年12月16日発行)

今週のプログラム

夜間移動例会 クリスマス家族親睦会
会場：太陽の里

前回例会報告 (12月9日)

鐘：宮内 龍雄会長

ロータリーソング：我等の生業

ビジター紹介：

NPO 法人国際教育推進プロジェクト BeCOM

武内 達彦様
和泉千恵子様



銚子東 RC 大内 一恭様



(卓話者)

銚子通運(株) 石橋 拓実様

沿海石油商会 明石 美樹様



会長挨拶



皆さん今日。12月は去年までは家族月間でしたが、2014年10月RI理事会は、この12月を重点分野である「疾病予防と治療月間」としました。今や、私たちの最大の関心事は、自分の体が「健康であるか」ではないでしょうか。昨年度の日本平均寿命は男性が80.5歳、女性は86.83歳です。ちなみに1890年(明治23年)は男性42.8歳女性44.3歳で織田信長によるものが有名な、敦盛の一節「人間五十年」よりも短い。戦後の1947年(昭和22年)に初めて男性50.06歳女性53.96歳となり、今では女性の4人に一人が95歳、男性も4人に一人が90歳まで存命する時代になっています。このことを考えますと、今の日本は十分健康的な社会と言えるのではないのでしょうか。今後、更に人の遺伝子解析が進み、遺伝子を自在に操り先端医療の発達により、400～500歳まで寿命を延ばすことも可能だとする研究者もいるそうです。皆さん考えてください。「銀も百歳、金も百歳」ってありましたよね、それが「龍雄も三百歳、直子も三百歳」なんてゾッとしませんか、今の平均寿命で十分すぎます。科学研究者や企業が人類の幸福の為という大義名分のもと、人のゲノム(全遺伝子情報)解析を始めた2000年ごろ費用が約1000億ドル(120億円)。それが今では1400ドル(約16万円)と七万分の一まで下がったそうです。人の寿命を人がコントロールしていいも



第2790地区
ガバナー 櫻木英一郎 (千葉RC)

広報・会報委員会 委員長 上総 泰茂
副委員長 高瀬 幸雄 委員 阿天坊俊明・小田島國博

のか、自然摂理があります。人間の動物としての（生物学的な）寿命はやはり 30～50 年だそうです。犬猫は 12～18 年、象は 50 年位、鶴は 25～30 年、カメは 100～150 年です。私は寿命を延ばすことより、残された寿命を大事にそして有意義に楽しく過ごす方を選びたいと思います。63 歳でお亡くなりになった 植田 正義会員に心より哀悼の意を表して会長挨拶を終わります

幹事報告

1. 入会候補者情報プログラムのご案内
2. 職業奉仕月間リソースのご案内
3. フェローシップ委員会 第 2 回二輪走友会ツリングのご案内
4. 第 5 回日台ロータリー親善会議開催のご案内
5. 地区大会 芸術祭作品出展のお願い
…以上、ガバナー事務所
6. 平成 28 年銚子商工会議所賀詞交歓会のご案内
…銚子商工会議所
7. 千葉科学大学親和会新年会懇親会のご案内
…千葉科学大学
8. 2014 年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い…一般財団法人比国育英会がぎょ基金
9. 平成 28 年銚子市消防出初式のご案内
…銚子市消防本部

【例会変更】

佐原 RC

1 月 28 日(木)→27 日(水)潮来 RC との合同新年例会
に振替 香取市「開花亭」点鐘 18 時

八日市場 RC

12 月 22 日(火)→20 日(日)クリスマス家族移動例会に振替
点鐘 18 時 45 分 黄鶴

29 日(火)定款第 6 条第 1 節 C により休会

会員の記念日

◆誕生日おめでとうございます

宮内 龍雄会長(12 月 4 日)



信太直前会長からお祝いを受ける宮内会長

◆創業記念日

宮内 榮会員(12 月 5 日)

小林 昭弘会員(12 月 9 日)

ニコニコBOX

◇宮内龍雄会長

還暦になってしまいました。赤いチャンチャンコ着てきます。

◇大里忠弘会員・宮内秀章会員

本日は、社員が卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。



ビーコム武内様へ例会場からの寄付金をお渡し

卓話

「RYLA セミナーで学んだこと」

銚子通運(株) 石橋 拓実様



出発前の私の気持ちは不安と緊張、更に二日間 RYLA セミナーに参加する方達に迷惑をかけないかなど色々な事を考えてしまい、なかなか寝付けずに当日の朝を迎えました。しかし、実際に

に参加してみると今迄感じていた不安や心配が吹き飛んでしまっていました。

船橋市立一宮少年自然の家について

開校式は十時、周りを見渡してみると様々な年齢の方がいました。開校式が終わった後、ユニット毎に分かれ歩行ラリーについての説明、実行にあたっての研究と対策を一チーム毎に話し合いました。初めて見る共に過ごす方達と、行ったことのない歩行ラリーという競技、更に歩行ラリーについての運営者の方からは何も説明がありませんでした。出発前の私の不安と緊張はここにあったような気がします。チーム毎に自己紹介を終えるとさっそく運営者の方から議題の内容を伝えられました。「歩行ラリーとは何か」チームで話をした結果、複数あるチェックポイントを通りスタートした地点に戻ってくる競技であるという事が分かりました。研究と対策については何も説明がありませんでしたので、「配布されるコマ図をよく見る」「チェックポイントを必ず通る」など重要な点はおさえておこうとチームで話し合いました。

第 1 回歩行ラリー開始

歩行ラリーのペアは決められていて、私はロータリアンの方と高校生の方とペアを組みました。歩行ラリーを行いながら年齢や職業、どこから来たのかなど色々な雑談をしながら会話を弾ませて共にゴールを目指しました。私は正直「曲がるポイントだけ

間違えなければゴールできるのではないかと考えていました。しかしいざ行ってみると、配布されるコマ図ばかりを見てしまいチェックポイントを見逃してしまったり、「このカーブミラーを曲がればいいんだ」等と目印ではないカーブミラーを曲がってしまったりして勝手な思い込みをし、結局タイムオーバーになってしまいゴールできませんでした。歩行ラリー終了後はペアやチームで出来事を振り返りました。話し合いをしてみると、コマ図の中に様々なヒントが散りばめられている事が分かりました。ラリーを行った感想としては思い込みによる間違い、安易な考えで物事を解決しない、ペアがいるという事の大切さについて学ぶことが出来ました。何事もそうだと思うのですが、一つの目的を達成するにあたって一人ひとり違う意見を持っているはずだと思うので、一人ひとり違う意見を持っているはずだと思うので、一人の意見だけを聞き行動するのではなく、お互いの意見を尊重し、協力し、役割分担をする事で人間関係が円滑になって仲が深まり、信頼し合えるのではないかとこのセミナーに参加してとても大切なチームワークという言葉の重要性について深く知ることができました。

夕食を食べ終わると、人材育成コンサルタントの河合潤先生の講話が始まりました。講話の内容で印象に残った話が「生きるということ」についての内容で河合先生が言っていた、「君が無駄に過ごした今日は、昨日誰かが死ぬほど生きたかった明日だ。」という言葉に心を打たれました。私も一日一日を無駄に過ごしてはいないのですが、何気なく過ごす日も、充実させようと過ごす日も、同じ一日であると改めて気づき、大切な日々を全力で生き、何事にも挑戦し、些細な幸せにも感謝し、豊かな心を持って日々過ごしていきたいと思えます。

二日目の歩行ラリーはロータリアンの方が一日目で帰ってしまったため、二人で行いました。しかし、一日目で学んだ安易な考えで物事を解決しない、物事を注意深く見るという事に注意した結果、無事にゴールすることができました。反省と対策をすることによって目的を達成することができて協力し合うことの大切さを学ぶことができたことにとってもうれしく思います。

セミナーに参加した感想

二日間という短い間でしたが、セミナーに参加して改めて気づかされた部分や中々得ることのできない貴重な体験ができたことに人として成長していく上で欠かせないことを学べたと思えます。何度も言うのですが、挑戦しなければ経験できない事があるのは確かです。「何事も挑戦！」という言葉があるようにダメでもいいから挑戦する勇気を持ち、「できない理由」を考えるのではなく、「できる理由」を考えて挑戦する一歩を踏み出していき、どんどん色々な事に挑戦していこうと思えます。また、今回行ったセミナーを仕事の面でも生かしたいと思えます。最後になりますが、セミナーに参加して本当に勉強になりました。次回参加できるのであればぜひ

とも参加したいです。

「RYLAセミナーで学んだこと」 沿海石油商会 明石 美樹様



今回、RYLAセミナーに参加させていただきたくさんのことを学ぶことができました。

正直に言うと、初めは「知らない人たちと何もわからない場所で二日間を過ごす。

」ということが心細く、とても不安でした。当日の朝も気が重く、まさにその日の天気のように私の心も曇っていました。

憂鬱な気持ちのまま会場である一宮少年自然の家につき、受付をする場所に向かおうとすると元気な声で「おはようございます」とスタッフの方に挨拶をされました。私はとっさのことで驚いてしまい口ごもった返事しかできませんでした。普段の生活の中できちんと挨拶をすることを心がけていたのに、緊張や不安のほうが大きくなりしっかり返事ができなかったことをその時とても反省をしました。その後も受付や集会場に向かうまでの間もすれ違う方々がみな、明るく挨拶をしてくださり私もいつの間にか笑顔で進んで挨拶ができるようになっていました。改めて元気で明るい挨拶は、する方もされた方もとても気持ちのいいものだ実感しました。

会場ではまず、AB二チームに分かれ更に各チーム四班に振り分けられました。私は昔から人見知りをしてしまうところがあり、こういった場所でも発言をしたり進んで行動することができない性格で、この時も開校式を待つ間、同じ班になった方々とまったく話すことができませんでした。隣の班では一人のロータリアンの方が積極的に周りに話しかけ和やかな雰囲気になっているのを見て、この方のように豊かなコミュニケーション能力と自分から行動する力が欲しいなと思いました。開校式では櫻木英一郎ガバナーからのお話の中で今回の研修を通してまず、同じ班になった人の名前をしっかりと覚え名前を呼んでコミュニケーションをとること、そしてせっかく休みの二日間を潰すのだからどうせなら思いっきり取り組んでみてはどうだろうかとお話いただきました。この言葉を聞いて、私は自分の中で三つの目標を決めました。1、見知りをせず、自分から積極的にいろんな人に話しかけること。2、自分の意見をどんな状況でもきちんと発言すること。3、楽しむ！この目標を二日間全力で取り組もうと決意し、不安を抱えたまま研修がスタートしました。研修の内容は、歩行ラリーです。

まずは各班にわかれ、資料を基に歩行ラリーとはなにか。歩行ラリーをするための対策などを話し合い発表します。ラリーとは再び集まるという意味で、スタート地点から野山を歩き回り元の地点に戻って

くる頭と心と体を一緒に使うチームワークが必要なスポーツです。私たちの班では、資料を声に出して読みあう、どんな小さなことでもわかったことをあげていく、ということを班の中でのルールとし、積極的にみんなが参加できる雰囲気作りを心がけました。その結果、初めは消極的だった意見交換もルールのおかげでそれぞれが発言し、全員が納得できる発表をすることができました。他の班の発表も自分たちでは気づけなかった事や違う考え方など知ることができ、一人ひとりが感じたこと、思ったことを話し合うことの大切さを学びました。午後からはいよいよ一回目の歩行ラリーです。三人一組となりコマ地図でできているコースをチェックポイントを回りながら二時間以内に帰ってくるというものでした。初めは地図の解読もスムーズに行き速度にも気をつけて回れていたのですが、途中一ヶ所つまづいてしまいタイムオーバーとなってしまいました。その日はほとんどのグループがゴールできず、やはりみんなコマ地図や標識の見間違いなどが原因でした。この失敗を通して思ったことは、これまで自分が得てきた知識や経験が「先入観」「思い込み」「既存概念」となり間違いを犯すということです。こういうものだという決め付けや、こうに違いないという思い込みが自分でも気づかぬうちに、真実を見えづらくしているのだと思いました。

二日目ではこの反省と前日の知識を生かし、無事にゴールすることができました。この日はすべてのグループがゴールすることができ、みな達成感に溢れ、研修が始まったときの顔とは別人のようでした。

私はこの研修を通して、普段の生活では味わうことのできないたくさん「気づき」を経験することができました。それは一つの挨拶から、人見知りを克服できる自分自身の可能性など本当にさまざまなことを気づき、今後の自信に繋げることができました。

そして特別講和をして頂いた河合潤先生の「豊かに生きる」という言葉です。豊かに生きるためには、豊かな心を持つことが大切です。豊かな心とは自分の信念に基づき自らを高めていくこと、財力や権力がなくとも心と手足がある限り前向きに今日という日を一生懸命生きること。そして豊かな心を磨き、ハンサムに生きてくださいとお話いただきました。私は今の自分を振り返り、なにかに一生懸命取り組んだり目標をもって生活しているのだろうかと考えました。自分でも知らず知らずのうちに惰性に流され、なにも考えず生活していたのだと気づき、そしてそれがどんなにもったいないことなのかわかったのです。この二日間、それまで忘れていた学ぶ楽しみ、一生懸命取り組み達成させたいと思う気持ち、その楽しさを思い出すことができました。今後この気持ちを忘れず、河合先生のお話にもあったように私自身が世界へのプレゼントとなれるよう豊かな心を持つ人間になりたいと思います。

最後に、このような素晴らしい経験をする機械を与えてくださった銚子ロータリークラブの皆様

心より感謝申し上げます。

委員会報告

猿田正城社会奉仕副委員長



『交通・防犯合同出動式および街頭キャンペーン』

日時：12月11日(金)

集合：17:50

銚子市役所市民プラザ

出動式：18:00開会

市役所より銚子駅周辺まで徒歩にて、街頭キャンペーンを実施

『薄暮時街頭指導』

日時：12月25日(金) 16:00~17:00

場所：銚子大橋交差点

【出席報告】

会員総数 44名

出席計算 42名 出席 31名 欠席 11名

出席率 74.42%

欠席：伊東君・栢尾君・越川君・丸山君

宮内榮君・宮崎君・白濱君・杉山君・田中君

富永君・内田君

【M U】

12/9：両RC 正副会長幹事会

石毛君・宮内(龍)君・佐藤君・島田君

12/11:冬の交通安全運動出動式(8名)

石毛君・金島君・越川君・松本君・

宮内(秀)君・宮内(清)君・大里君・小田島君



【ニコニコ】

ニコニコBOX ￥8,000 計 ￥314,143

スモールコイン ￥3,300 計 ￥33,368

米山BOX ￥— 計 ￥30,884

希望の風 ￥— 計 ￥175,200

12月23日および30日の例会は休会です。

次のプログラム(1月6日)

「年男の抱負」 堀米秀和会員

「新入会員卓話」 高橋宏明会員

お弁当：黄鶴(中華)